



FUKUOKA
TRIATHLON 2025
in SHIKANOSHIMA

 **NTT TRIATHLON**
AGE GROUP NATIONAL CHAMPIONSHIP SERIES

ATHLETES GUIDE

CONTENTS



- 003 開催概要
- 004 当日スケジュール
- 006 コースマップ
 - 競技コース全域 MAP
- 007 SWIM コース MAP
- 008 トランジションエリア MAP
- 009 バイクラック詳細
- 010 バイク合流点
- 011 BIKE コース MAP
- 012 RUN コース MAP
- 013 競技配布物
- 015 再発行・QR コード
- 016 大会前日までに
 - 準備しておくべきこと
- 017 競技規則
- 023 選手ナビゲーション
- 024 当日
- 025 受付・駐車場ほか
- 026 危険箇所・規制区間
- 027 スタートリスト
- 031 SPONSER

 **NTT**
TRIATHLON
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP
SERIES

開催趣旨

2017年に初めて開催された福岡トライアスロンは、「産・学・官」と地域社会を結びつけることを主たる使命とし、地域の皆様のご協力の下に開催することができました。2019年では、ノーマライゼーションを掲げて、パラボランティアとともに「パラプロジェクト」を新たに立ち上げました。今後も、大会を継続的に開催することで、地域社会の新興や競技の普及の一助となっていくことを望んでいます。そして、【誰もが住み慣れた地域で心身ともに健康で自分らし暮らしを、ひとにも「まち」も幸せになれる福岡】づくりに寄与し、全ての人が平等である社会の実現を目指します。

開催概要

大会名称	福岡トライアスロン2025 in 志賀島 2025NTTトライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ
開催期日	2025年6月22日(日) 7:15~13:30 ※開会式~閉会式終了まで
開催地	福岡県福岡市東区志賀島一帯 ※島完結コース (大会本部:志賀公民館)
競技内容	【スタンダードディスタンス:51.5km】 スイム1.5km、バイク40km(実測36.2km)、ラン10km(実測9.82km) ※スイム:750m×2周回/バイク:志賀島県道542号東海岸5往復/ラン:潮見公園までの登坂コース2往復
記録・計測	ネオシステム
主催	福岡トライアスロン組織委員会(構成団体:SDF、福岡県トライアスロン連合、日本トライアスロン連合)
共催	TNCテレビ西日本
主管	福岡県トライアスロン連合
後援	福岡市、在福岡米国領事館、福岡商工会議所、九州経済連合会、博多21の会、福岡青年会議所、福岡県中小企業経営者協会連合会、アビスパ福岡株式会社、福岡県専修学校各種学校協会、NPO法人福岡市障害者関係団体協議会、一般社団法人福岡SUNS、ライジングゼファークオカ株式会社
協力	福岡みらい病院、九州産業大学、志賀商工会、西戸崎校区自治協議会、志賀島自治連合会、志賀島・海の中道サイクルツーリズム協議会、台湾厚徳会、社会福祉法人福岡市身体障害者福祉協会、全国柔整鍼灸協同組合
協賛	九州電力、QTnet、福岡みらい病院、九州産業大学 サニクリーン九州、ふくや、にしけい、福岡ロジテム、あびす、積水ハウス、Aimowl、USA ライス連合会、ティーアンドエス、米田建築工房、セイコーメディカルブレン、ビジネスリファイン、福岡外語専門学校、アイ広告社、アサヒ飲料、アストンマーティン 松本組、夢源、野間薬局、三好不動産、コリンジャパン、クリスマスマーケット、ミカサ、増田石油、はたなか、博多の森不動産、オーレック、廣田商事、福岡クリーン産業、イシカワ、松山建設、トライアンド、丸松セム、福岡リゾート&スポーツ専門学校、未来図建設、ファインロジテック、あおやぎ、篠原公認会計士事務所、大村美容ファッション専門学校、博運社、にしで歯科医院、ホームラン・システムズ、CASE、山本設備工業、ヤマカワ装飾、シーサイドリアルエステート、三和シャッター工業、ミツヤマ電気、エイプラス、トクスイコーポレーション、西日本シティ銀行、西日本鉄道、河野産業、エム・ティ・エスひかり、九州旅客鉄道、九州自動車リース、Cytix、西部ガス、福岡銀行、エムアイディ、朝日自動車、九州風雲堂、トレードモール、福岡トヨタ、新日本製菓、妹尾産業、スマイル企画、フルフル、写真のトクダ、大央、福岡倉庫、紙資源、ボルコロツ、三和興業、中村専修学園、HACHINANA、大賀薬局、中村学園大学、安田建物管理、地域みらいグループ、カンサイホールディングス、インサイドアウト、シンマーバイオメット、日本ブライス
オフィシャル サプライヤー	アサヒ飲料、花屋ひより、はたなか、南国フルーツ
メカニック サポート	正屋、イワイスポーツサイクル
スペシャル サンクス	ザ・ルイガンズ、ガーデンズ千早、テレビ西日本、福岡市漁業協同組合志賀島支所

6月22日(日) 大会当日

group **A** グループ A (07:30 スタート)

時 間	内 容	場 所
05:00 ~ 06:30	大会会場入り	A・B・C駐車場：選手向け駐車場エリア
05:30 ~ 06:50	受付	志賀公民館
05:30 ~	更衣室・荷物置場利用	スイムエリア(海の家：男性「丸良」、女性「福助」)
05:30 ~	トランジション オープン	トランジションエリア(志賀島漁港付近)
~ 07:10	トランジション クローズ	トランジションエリア(志賀島漁港付近)
06:40 ~ 07:15	アンクルバンド受渡し	スイムエリア(計測テント)
06:50 ~ 07:15	入水チェック	スイムエリア(計測テント)
06:50 ~ 07:15	試泳	スイムエリア(志賀島海水浴場)
07:15 ~	開会式	スイムエリア(志賀島海水浴場)
07:30 ~	レーススタート	スイムエリア(志賀島海水浴場)
08:10 ~	スイムスキップリスタート	スイムエリア(計測テント)
08:20	スイム制限時刻	スイムエリア/スイムフィニッシュ計測地点
08:35	バイクスタート制限時間	バイクエリア/バイクスタート計測地点
10:35	バイク制限時間	バイクエリア/バイクフィニッシュ計測地点
11:45	ラン制限時間	フィニッシュゲート(志賀島海水浴場)
13:00 ~	表彰・閉会式	スイムエリア(志賀島海水浴場)

注 意

※本大会では事前の競技説明会はいりません。こちらの「ATHLETES GUIDE」が
競技説明会の代わりになるものですので、熟読し内容を把握した上で大会に臨んでください。
※後日、大会に出場に必要な事前発送物と一緒に「**健康チェック&競技規則確認シート**」を同封しま
す。選手の皆さまは、記入・回答した上で大会当日受付に提出をしてください。
<提出がない方は、大会出場をお断りする場合がありますのでご注意ください。>
※6/22(日)はコース及び会場周辺で**交通規制**が実施されます(6:45~13:00※県道は12:00)。
地域住民の往来もありますので時間に余裕を持ってお越しください。

6月22日(日) 大会当日

group **B** グループB (08:45スタート)

時 間	内 容	場 所
05:00 ~ 06:30	大会会場入り	A・B・C駐車場：選手向け駐車場エリア
05:30 ~ 06:50	受付	志賀公民館
05:30 ~	更衣室・荷物置場利用	スイムエリア(海の家：男性「丸良」、女性「福助」)
05:30 ~	トランジション オープン	トランジションエリア(志賀島漁港付近)
~ 07:10	トランジション クローズ	トランジションエリア(志賀島漁港付近)
07:15 ~	開会式	スイムエリア(志賀島海水浴場)
07:30 ~ 08:10	待機	スイムエリア(アンクルバンド受渡テント付近)
08:10 ~ 08:35	アンクルバンド受渡し	スイムエリア(計測テント)
08:20 ~ 08:35	入水チェック	スイムエリア(計測テント)
08:20 ~ 08:35	試泳	スイムエリア(志賀島海水浴場)
08:45 ~	レーススタート	スイムエリア(志賀島海水浴場)
09:25 ~	スイムスキップリスタート	スイムエリア(計測テント)
09:35	スイム制限時刻	スイムエリア/スイムフィニッシュ計測地点
09:50	バイクスタート制限時間	バイクエリア/バイクスタート計測地点
11:35	バイク制限時間	トランジションエリア付近折返し
11:50	バイク制限時間	バイクエリア/バイクフィニッシュ計測地点
13:00	ラン制限時間	フィニッシュゲート(志賀島海水浴場)
13:00 ~	表彰・閉会式	スイムエリア(志賀島海水浴場)

注 意

※本大会では事前の競技説明会はありません。こちらの「ATHLETES GUIDE」が
競技説明会の代わりになるものですので、熟読し内容を把握した上で大会に臨んでください。
※後日、大会に出場に必要な事前発送物と一緒に「**健康チェック&競技規則確認シート**」を同封しま
す。選手の皆さまは、記入・回答した上で大会当日受付に提出をしてください。
<提出がない方は、大会出場をお断りする場合がありますのでご注意ください。>
※6/22(日)はコース及び会場周辺で**交通規制**が実施されます(6:45~13:00※県道は12:00)。
地域住民の往来もありますので時間に余裕を持ってお越しください。

競技コース全域 MAP



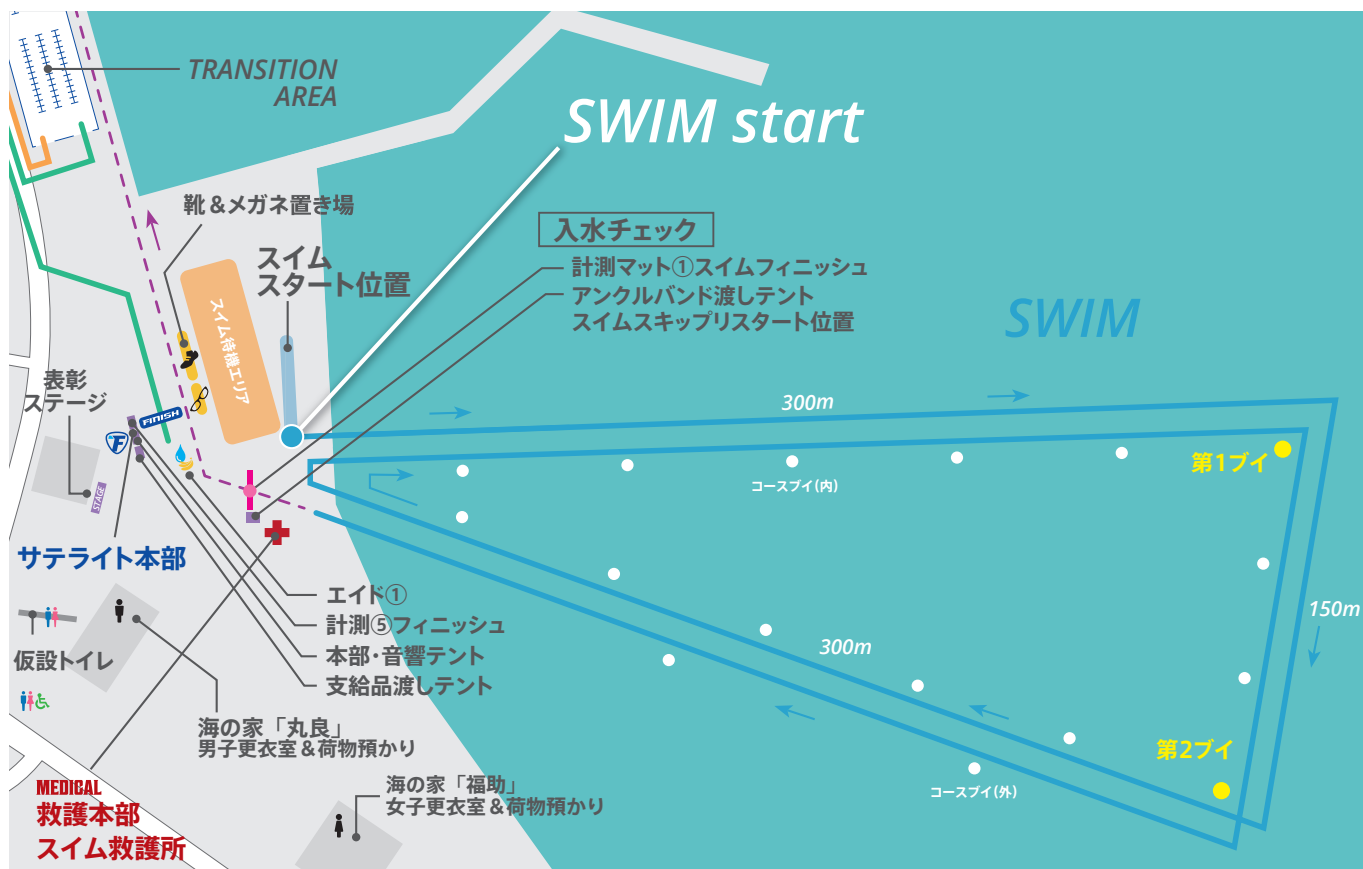
スイムコース MAP



FUKUOKA
TRIATHLON 2025
in SHIKANOSHIMA

NTT
TRIATHLON
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP
SERIES

SWIM コース：1.5km 志賀島海水浴場 750m × 2 周回

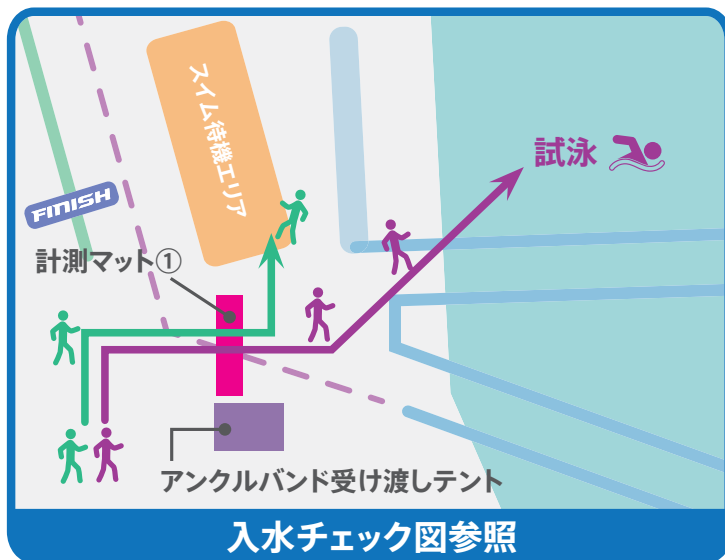


- 受付・トランジション準備ができれば、スイムエリアに移動します。
- グループ B は、スタート時間が 8 : 45 となるため、アンクルバンド受渡が始まる 8 : 10 まではスイムエリアにあるアンクルバンド受渡テント付近で待機をしてください。
- グループ毎に指定された時間帯にスイム計測地点（計測①）付近にあるアンクルバンド受渡テントでアンクルバンドを受け取り装着してください。
 - ★グループ A → 6 : 40 ~ 7 : 15
 - ★グループ B → 8 : 10 ~ 8 : 35
- アンクルバンドを装着したら、グループ毎に指定された時間帯に入水チェックを行いスイム待機エリアに入ります。入水チェックは計測①を通過することで行います。
 - ★グループ A → 6 : 50 ~ 7 : 15
 - ★グループ B → 8 : 20 ~ 8 : 35

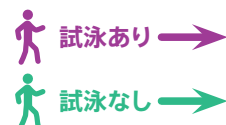
- スイム待機エリアに入ったら、グループ毎に指定された時間帯に試泳をおすすめします。
 - ★グループ A → 6 : 50 ~ 7 : 15、★グループ B → 8 : 20 ~ 8 : 35

●スイム待機エリアからは出ないようにしてください。

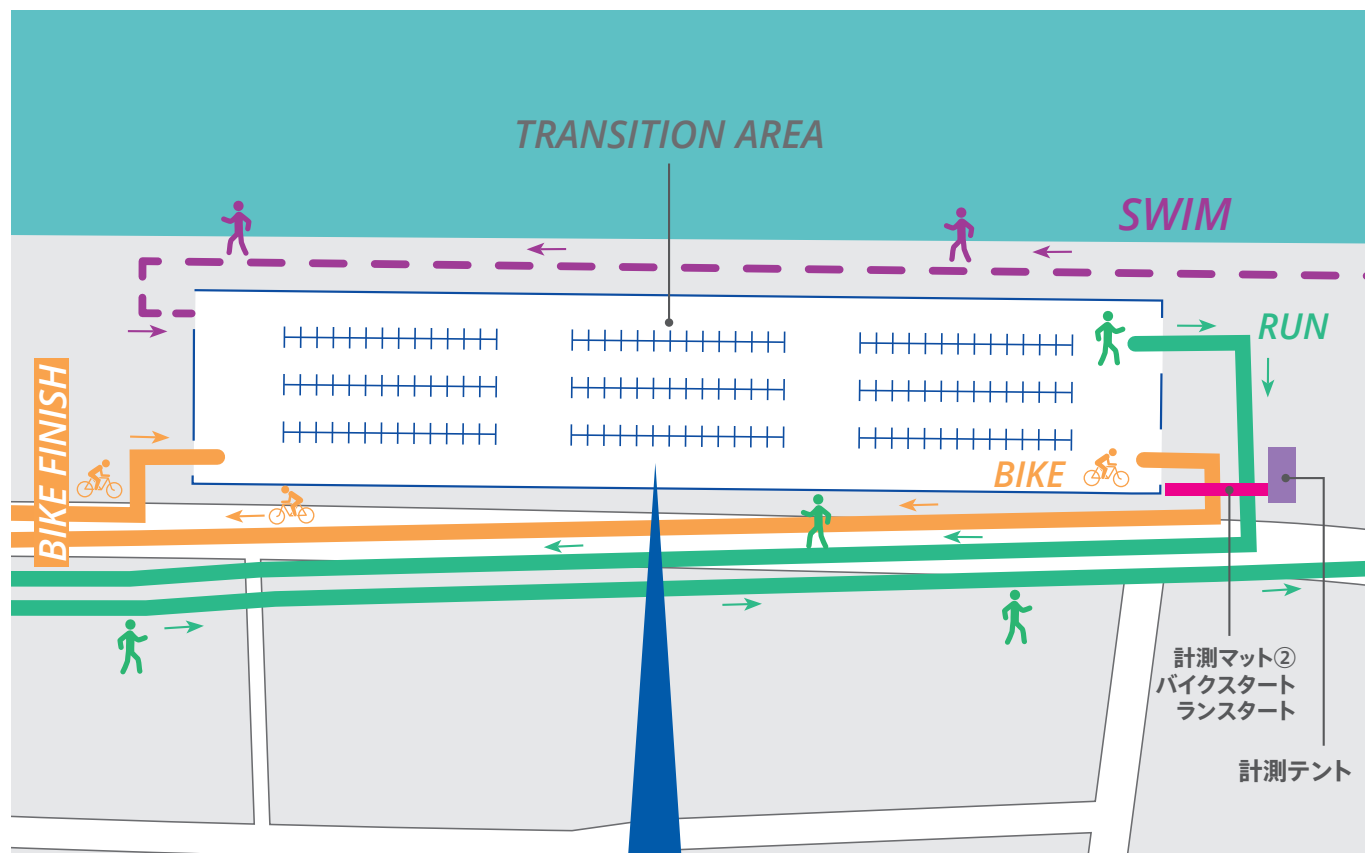
- スイムスタート時間：★グループ A → 7 : 30 ~ ★グループ B → 8 : 45 ~
- スイムキャップカラー：★グループ A → 白、★グループ B → 緑
- スイムキャップは大会当日受付にて「出場許可証」「健康チェック&競技規則確認シート」の提出確認の上お渡しします。
- 第 2 ブイを通過したあとは、コースブイ（内）とコースブイ（外）の間を通過してスイム周回地点（2 周目は計測①）を目指してください。



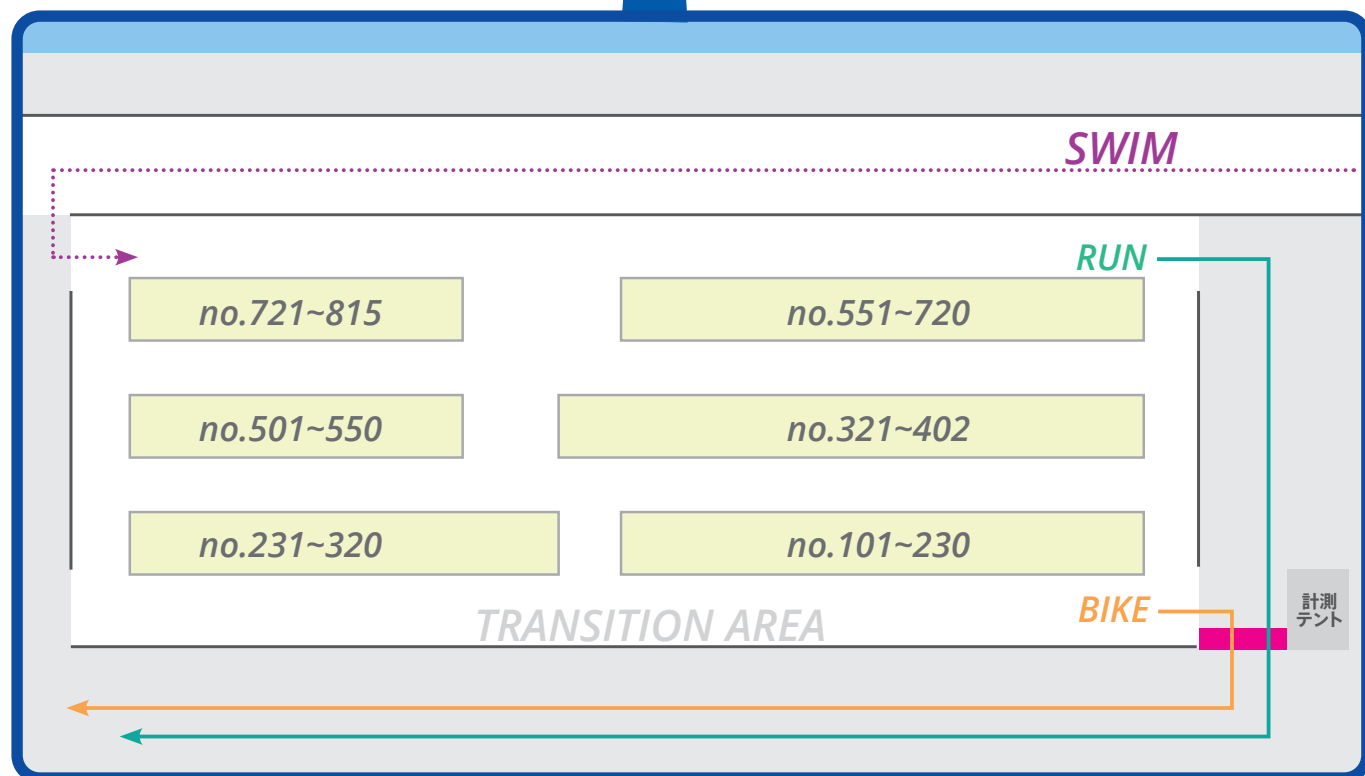
入水チェック図参照

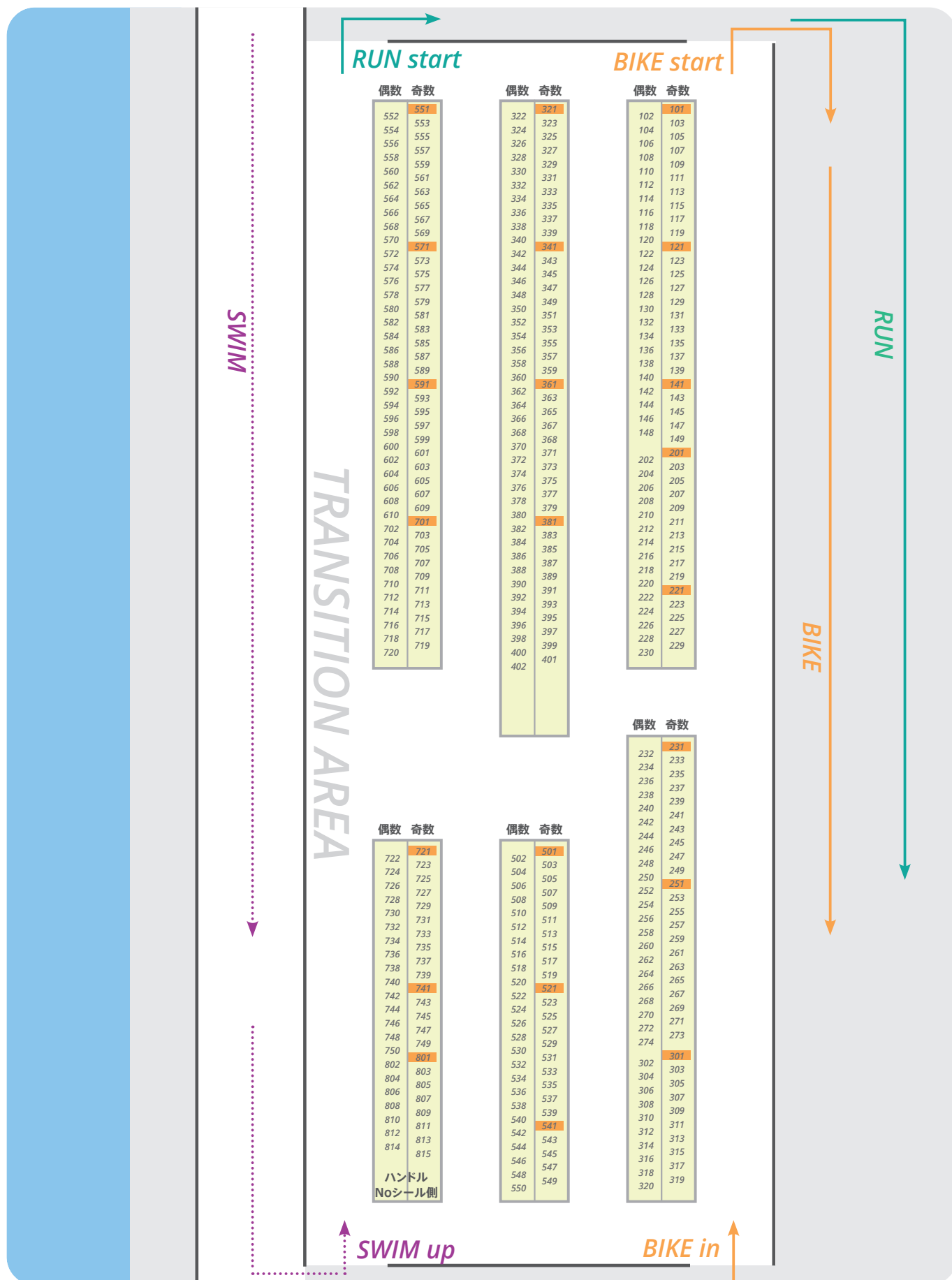


トランジションエリア

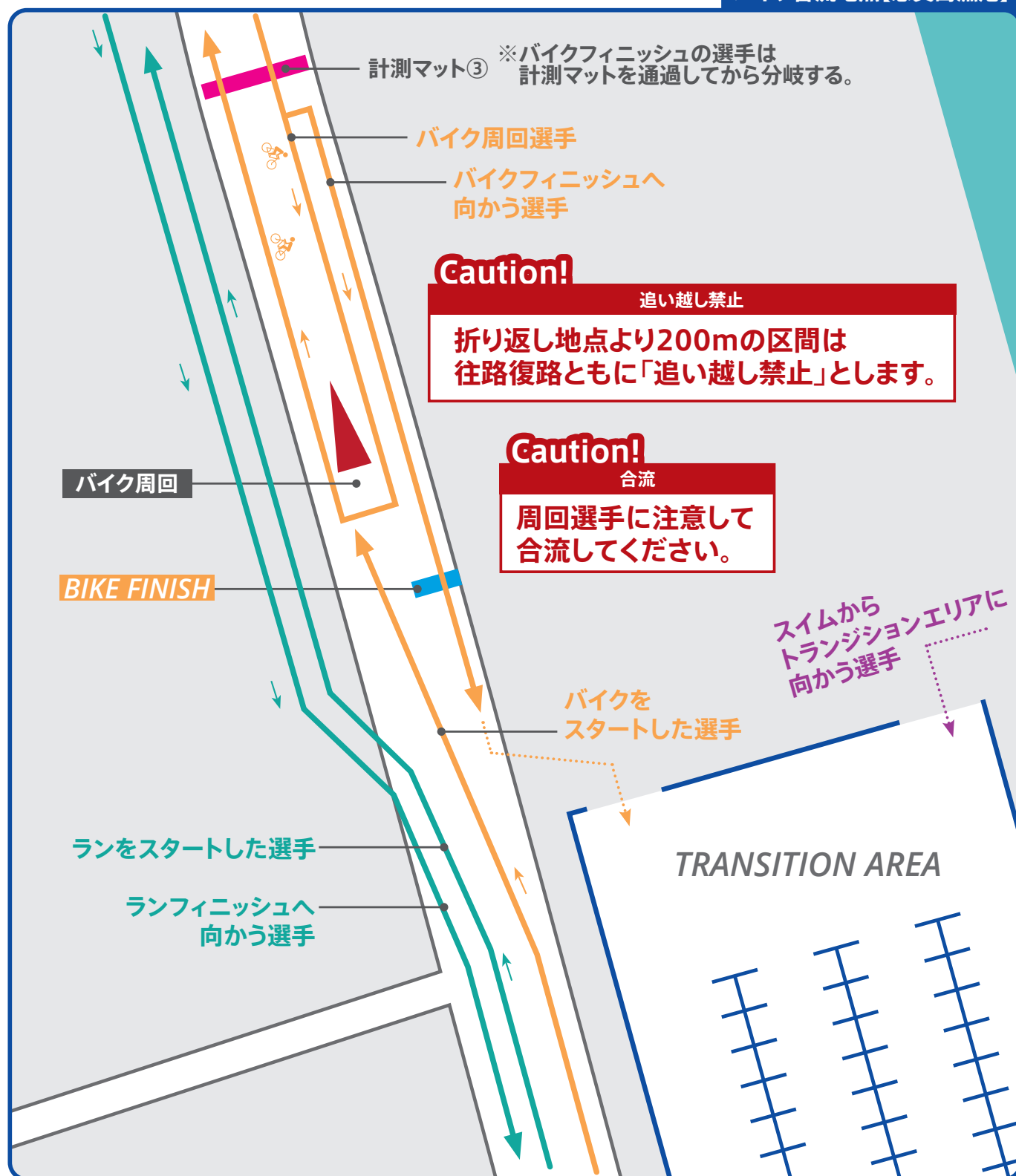


バイクラックの詳細は次のページで





バイク合流地点【志賀島漁港】



勝馬救護所
※まさご屋

黒瀬救護所
※黒瀬

志賀島ドック救護所
※志賀島ドック

TRANSITION AREA

MEDICAL 救護本部

大会本部

BIKE FINISH

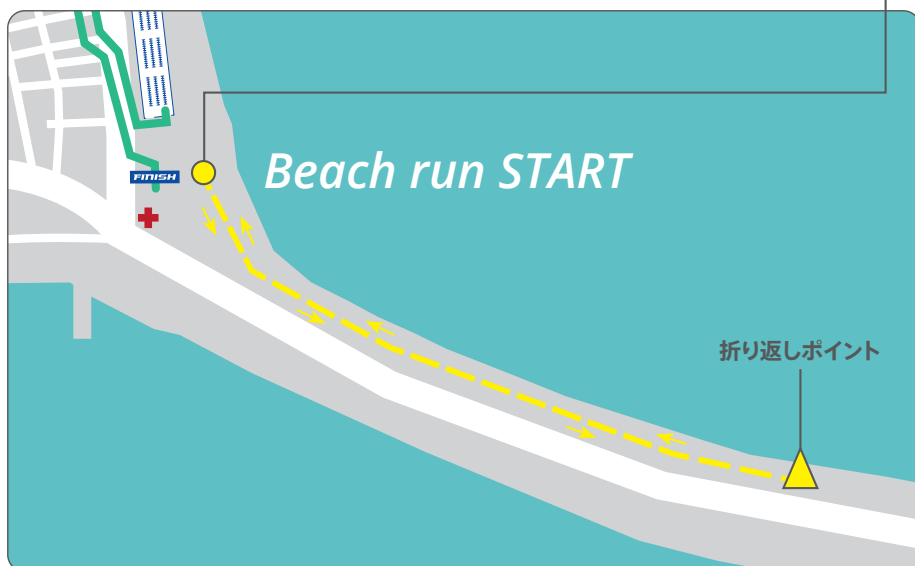
BIKE START

RUN コース：10km（実測 9.82km） 潮見公園までの登坂コース（※ ①間を反時計回りに 2 往復）



【スイム中止時は「ビーチラン」になります】

- ① 海上の状況により、スイムが中止となった場合は第一ラン（ビーチラン）を行うこととする。
- ② スタート・入水チェックの時刻は変更せず（グループ A/7：30、グループ B/8：45）とする。
- ③ 入水チェック後、スイム待機エリアからスタッフの誘導でスタート位置に移動すること。スタートは各グループ一斉スタートとする。
- ④ コースは、志賀島海水浴場の砂浜を走り、折り返し地点までの 1 往復（1.5km）とする。
- ⑤ スタート位置まで戻ってきたら、計測①を通過してからトランジションエリアに移動し、バイク競技に移る。
- ⑥ 第一ランではシューズの着用は可とする。



① 出場許可証



- レースナンバーが明示されています。
- 受付時に必要となるため必ず持参してください。

② レースナンバーカード × 2 枚

- レースナンバーはバイクでは後方に、ランでは前面に来るようにしてください。※レースナンバーベルト着用推奨
- レースナンバーの裏面に、**レース当日の緊急時連絡先**を必ず記入してください。（本人以外の連絡先）

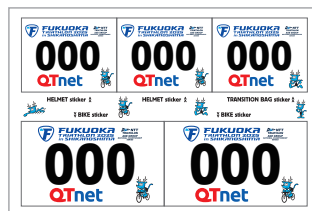


③ レースナンバーシール × 3 種類（ヘルメット、バイク、トランジションバッグ）

- レースナンバーが記載されたシールです。トランジションエリアへ入る前までに必ず貼り付けてください。
- レースナンバーの加工・改良は禁止します。

【貼り付け箇所】

- ヘルメットの正面
- バイクの左側からレースナンバーが確認できるようバイクフレームもしくは、シートピラーに貼りつけます。
※正しい位置に貼り付けられているか、トランジションエリアの入口で審判がチェックを行います。
- トランジションレースナンバーシール
トランジションバッグに荷物を入れ、袋にレースナンバーシールを貼り、荷物を預けてください。
（男性：海の家『丸良』、女性：海の家『福助』が更衣室兼荷物の預かり場所となります）



④ ボディナンバーシール × 2 枚

- 本大会では、「ボディナンバーシール」を用います。（できるだけ、自宅・宿舎を出る前に貼っておきましょう。）
- 「ボディナンバーシール」は両腕の見える位置に貼ってください。



競技配布物（自宅から持参するもの）



FUKUOKA TRIATHLON 2025 in SHIKANOSHIMA

NTT TRIATHLON AGE GROUP NATIONAL CHAMPIONSHIP SERIES

⑥ トランジションバッグ× 1 枚

- トランジションエリアには競技と直接関係ないものの持ち込みはできません。最後に着ていたウェアなどはトランジションバッグに入れ、スイム会場にある海の家「丸良」（男性）、海の家「福助」（女性）に預けるようにしてください。

⑦ 駐車証

- 当日、対象となる駐車場入口で確認しますので、必ず持参してください。
- 限られたスペースでの駐車となります。
警備員・大会スタッフの誘導に従って駐車をお願いします。



⑧ 健康チェック&競技規則確認シート

- 後日、大会に出場に必要な事前発送物と一緒に「健康チェック&競技規則確認シート」を同封します。
選手の皆さまは、記入・回答した上で大会当日受付に提出をしてください。

《提出がない方は、大会出場をお断りする場合がありますのでご注意ください。》



■ 当日お渡しするもの

① スイムキャップ × 1 枚

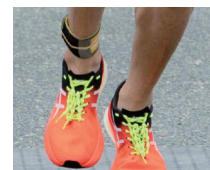
- スイムキャップは大会当日受付にて「出場許可証」「健康チェック&競技規則確認シート」の提出確認の上、お渡しします。
- スイムキャップカラー
グループ A → 白 / グループ B → 緑



※画像はイメージです。

② アンクルバンド

- 当日スイム会場計測地点付近にてお渡しします。計測に使用しますので、その場で装着するようにしてください。
※アンクルバンド紛失の際は実費請求します（¥3,300）。
- アンクルバンドは装着したらフィニッシュまで取り外さないようにしてください。
- 競技を棄権する際はアンクルバンドを外し審判員に返却すること。



③ 参加記念 T シャツ

- 当日受付時に申込時に指定されたサイズをお渡しします。



④ フィニッシャータオル

- フィニッシュした後にお渡しします。



②③④の再発行について

②レースナンバー ③レースナンバーシール ④ボディナンバーシールを紛失された方は以下のとおり再発行いたします。(全て手書きでの発行となります。)

▶ **再発行日** 6月22日(日) 受付会場(志賀公民館)

▶ **再発行に必要な物**

●出場許可証 ●レースナンバー

上記がない場合 → ○免許証 ○保険証など ○身分が証明できるもの。

※本人確認を行います。必ず持参してください。 ※ボディナンバーシールは再発行いたしません。マジックでナンバーを両腕に記載します。 ※レースナンバー、レースナンバーシールの再発行は有料です。(¥500)

大会速報・完走証・公式HP / QRコード

大会速報

選手のポイント通過
やFINISHの時間を
リアルタイムで掲載!



<https://systemway.jp/25fukuoka/>

完走証

自分のレースナンバー
を入力してweb記録証を
GETしよう!



https://mypublisher.jp/25fukuoka_tri

公式HP

大会の様子や
地元情報など、
最新情報を随時更新!



<https://fukuoka-triathlon.jp>

※完走証(WEB記録証) **ダウンロード期限→2025.6/22sun17:00～2025.9/22mon23:59**まで

● **QRコード読み取りアプリで上記URLのQRを読み発行作業を行うとうまくダウンロードされないとき**
→QR読取アプリを使用しますとブラウザが対応していないものがあります。カメラ機能から直接アクセスしてみてください。

● **記録証が表示されない時**
→基本的にダウンロードサービスとなります。端末の設定により表示されずにダウンロードフォルダへ保存される場合がありますのでこの場合は、自身のスマートフォンの設定をご確認ください。

健康管理

- 大会参加に際しては、充分トレーニングし、事前に健康診断を受診するなど、体調には万全の配慮をしたうえで参加してください。
- 前日の飲酒は控え、睡眠を充分にとってください。体調が悪いと感じたら、無理をせず参加を辞退してください。体調や心身の自己管理はレースを行う上でとても大切です。
- 主催者は、疾病・傷病・その他の事故に際し、応急処置のみを行いますが、それ以上の責任は負いません。
- 安全管理上、審判員または医師・看護師・救護スタッフ・大会関係者がレース続行不可能と判断した場合は、競技者に対して競技を中止させることがあります。
- 後日、大会に出場に必要な事前発送物と一緒に「健康チェック&競技規則確認シート」を同封します。選手の皆さまは、記入・回答した上で大会当日受付に提出をしてください。

《提出がない方は、大会出場をお断りする場合がありますのでご注意ください。》

コース・ルール等競技内容のチェック

- あらかじめ、コース図を確認し、自分自身が走行するルートやトランジションの位置、周回数等を把握しておきましょう。
- レースに出場するための注意事項を事前に把握しておきましょう。

会場までのアクセスルート、時間の確認

- 大会当日、会場周辺は大変混雑が予想されます。交通規制もあります。
 <志賀島外周道路 → **6:45 ~ 12:00 車両通行止め**><農道（潮見公園への農道）→ **8:15 ~ 13:00 車両通行止め**>
- お時間に十分余裕を持って会場にお越しください。受付時間に間に合わない場合は、出走できません。
- スタート前に選手受付、バイクチェックイン等を必ず行っていただきます。当日の流れを事前に把握してください。

	チェックリスト	チェック
スイム	キャップ (※当日受付でお渡しします)	
	ゴーグル	
	ウエットスーツ	
	耳栓（任意）	
	はきもの（推奨）	
バイク	ヘルメット	
	レースナンバーベルト	
	バイクシューズ	
	サングラス（任意）	
	くつ下（任意）	
	足ふきタオル（任意）	
	サイクルボトル（2本推奨）	
	その他補給食	
	サイクルコンピューター	
ラン	時計（任意）	
	ランニングシューズ	
	レースナンバーベルト	
	帽子（任意）	

	チェックリスト	チェック
事前準備	出場許可証	
	健康保険証コピー	
	健康チェック& 競技規則確認シート	
	ナンバーシール / メット 正面	
	ナンバーシール / バイク 左	
	ボディナンバーシール (当日、トランジションに入る前 までに貼っておく)	
あったら 便利	パンク修理・工具	
	雨具カップ	
	レスチューブ	
	帽子	
	サングラス	
	補給食	
	時計	
MEMO		

◆競技規則

- 01：本大会は、「公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）競技規則」、一部「国際トライアスロン連合（ワールドトライアスロン）競技規則」及び以下に定める「福岡トライアスロン競技規則」に従い競技を行う。
- 02：本大会競技規則に定めない事項、事象が生じた場合は、主催者または技術代表・審判長がその取扱いを決定する。
- 03：安全第一とし、気象条件、その他の条件等より、競技性及び安全が十分確保できないと主催者が判断した場合には、競技開始以前または競技中であっても、競技内容の変更または競技の中止を行うことができる。
- 04：選手及び随行者は、社会人・スポーツマンとして節度ある態度で本大会に参加する。違法駐車、一般車両・通行人への通行妨害、ゴミの投棄及び違法キャンプの禁止、バイク乗車時のヘルメット着用、夜間の騒音等に十分注意し、開催地の地域住民やボランティアとの調和を図る。
- 05：大会で定められた時間を遵守し、遅れる場合は事前に連絡する。連絡なき場合は失格となることもある。
- 06：選手は、大会規則及び道路交通法の定める交通規則とコースを十分に理解して参加する。コース離脱や交通違反に対する責任は選手個人が負う。
- 07：選手は予め郵送される「健康チェック&競技規則確認シート」に記入・回答し、大会当日受付に提出しなければならない。
- 08：酒気帯びや体調不良の状態で競技をすることはできない。酒気帯びの恐れのある選手に対しては呼気検査を求めることがあり、検査の結果、アルコール分が検出されれば競技に参加できない。
- 09：選手は、規則で定められたウェア、競技用具を使用しなければならない。
- 10：前ファスナー付のレースウェアは使用可能。ただし、前ファスナーの長さは40cm以下で最下部がつながっていることとする。前ファスナーは、下ろすことができるが、フィニッシュ前100mは上げることとする。また、競技中に限らず、屋外での更衣や、上半身裸のまま移動することを禁止する。
- 11：シューズを履かずに裸足のままバイクやラン競技を行うことは禁止とする。バイクシューズは専用のものでなくても構わない。
- 12：仮装は認めない。
- 13：レースナンバーは、バイクでは背面、ランでは前面に取付け、めくれあがらないように取り付けること。折り曲げや変造は禁止する。またレースナンバーベルトの使用を推奨する。
- 14：レースナンバーの裏面に、レース当日の緊急連絡先を必ず記入すること。（本人以外の連絡先）
- 15：大会期間中、指定場所以外での物（ゴミ、ボトル、競技用品を問わず）の投棄を禁止する。投棄した場合はペナルティを科せられる場合がある。
- 16：制限時間及び関門時間を設ける（※詳細は「◆制限時間」参照）。各制限時間・関門に通過できなかった選手はDNF（Do Not Finish）となる。制限時間に関わらず競技続行が困難、競技運営に著しく支障があると主催者及び審判員が判断した場合、その選手に対してDNFを宣告する。DNF及び自主リタイア選手は審判員に申告し、アンクルバンドを返却する。その後の行動は審判員の指示に従うこと。
- 17：フィニッシュ地点以外でのアンクルバンドの返却は、必ず審判員であることを確認した上で、審判員に直接返却すること。
- 18：小型カメラ、携帯電話、スマートフォン、音楽プレーヤーの使用は禁止する。ただし、スマートフォンは距離計測としての使用のみ認めるが、距離計測以外の使用は禁止する。使用した場合はペナルティの対象となることもある。
- 19：JTU競技規則、福岡トライアスロン競技規則及び、社会的マナーに反した選手は、審判員の裁量によりタイムペナルティを科せられる場合がある。ランコース上にペナルティボックスを設置するが、ペナルティ対象となる選手がペナルティボックスに入らなかった場合は失格とする

◆車検・バイクコース下見

- 01：本大会ではバイクの車検は行わない。競技用具の整備は選手各自の責任であり、著しい整備不良や規格違反と判断された場合、競技に参加できない場合がある。革新技術等の使用は、事前の了承を必要とする。
- 02：大会当日、トランジションエリア付近にバイクメカニックサービスを設置する。ただし、あくまで基本的な整備は済ませたものとし、簡易な整備のみの対応とする。※バイクメカニックサービス（¥1,000-/回）
- 03：大会当日、会場付近やバイクコースにおいて、バイクでのウォーミングアップ及び試走はできない。ラン及び徒歩によるバイクコース下見は可能だが、交通ルールを順守して安全に注意すること。大会前日にバイクコース下見を行う際は、交通ルールを順守し、地域住民の生活や地域事業者の業務遂行の妨げにならないように節度を持って行うこと。

◆スイム競技

- 01：スイムでは、安全上の観点からウェットスーツの着用を義務とする。トライアスロン用又はスイム用のウェットスーツ（厚み 5mm以下）を必ず着用する。これに反した場合は競技に参加できないか失格とする場合がある。また、スイムスーツでのウェットスーツ代用は認めない。
- 02：ゴーグル（オープンウォーターのためクリアに近いレンズカラー推奨）・ノーズクリップ・耳栓・腕時計・心拍測定器の着用を認める。
- 03：スイムキャップを重ねて被ることは可能。ただし、大会支給のスイムキャップを一番上に被ること。
- 04：ウェットスーツのゴム生地製ヘッドキャップの使用を認める。ただし、大会支給のスイムキャップを一番上に被ること。
- 05：大会側でワセリンは用意しないので各自用意すること。
- 06：入水チェックは以下の時間帯に必ず行うこと（グループ A/6：50～7：15、グループ B/8：20～8：35）。入水チェックはスイムエリアの計測マートを 1 回通過することで行う。スイムエリアに到着したらまずアンクルバンドを受け取り装着すること。その後、入水チェックを行ってからスイム待機エリアに移動し、必要に応じて試泳を行うこと。入水チェック後はスイム待機エリアから出ないようにすること。トイレ等でスイム待機エリアを離れる必要がある場合は、アンクルバンドを審判員に預けて離れること。
- 07：アンクルバンドはフィニッシュまで確実に装着すること。競技途中でアンクルバンドを紛失した場合は失格とする。
- 08：水温に慣れるためにも、定められた時間帯で試泳をすること。試泳は、入水チェックを行った後に行い、試泳後はスイム待機エリアでスタートまで待機すること。
- 09：スタート方式は二つの時間帯を分けたウェーブスタート（グループ A → 7：30 スタート、グループ B/ → 8：45 スタート）とする。
- 10：スイムからトランジションエリアに向かう動線上は一部路面が荒れているため、履物を履いて移動することを推奨する。
※スイム上陸部にはきものを置くエリアを設けるので自己責任のもと利用すること。
- 11：危険回避等でコースロープ、ブイ及び監視船等につかまって休息できるが、移動することはできない。
- 12：救助を必要とする場合は、競技を停止し、片手を頭の上で大きく振り、声を出して救助を求める。
- 13：審判員以外のライフセーバー等が選手のため競技を中止させることがある。
- 14：経験不足や泳力に自信がないことからスイム競技に不安を覚える場合は「スイムスキップ」を認める。ただし、スイムスタート前に申告する場合に限るものとする。スイムスキップをする選手は、所定の時刻（グループ A/7：15、グループ B/8：30）までにスイム会場に配置された審判員にレースナンバーとスイムスキップの意思を伝えること。その後は、計測テント付近に設けた「スイムスキップリスタート位置」で待機する。リスタートの時刻は（グループ A/8：10、グループ B/9：25）とし、一斉スタートの後トランジションエリアに向かう。
- 15：スイムスキップの場合、記録については「スイムスキップ」の表示で残るが、完走とはならない。また、エイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズのポイントは付与されない。※バイク競技以降の制限時間は「◆制限時間」と同じとする）
- 16：スイムリタイア者については、近くの審判員にレースナンバーとリタイアの意思を伝えた上で、アンクルバンドを返却すること。体調不良等によるリタイアの場合は、スイム救護所に向かいメディカルチームからの診察を受けること。

◆スイム競技中止時の対応

- 01：海上の状況により、スイムが中止となった場合は第一ラン（ビーチラン）を行うこととする。
- 02：スタート・入水チェックの時刻は変更せず（グループ A/7：30、グループ B/8：45）とする。
- 03：入水チェック後、スイム待機エリアからスタッフの誘導でスタート位置に移動すること。スタートは各グループ一斉スタートとする。
- 04：コースは、志賀島海水浴場の砂浜を走り、折り返し地点までの 1 往復（1.5km）とする。
- 05：スタート位置まで戻ってきたら、計測①を通過してからトランジションエリアに移動し、バイク競技に移る。
- 06：第一ランではシューズの着用は可とする。

◆スイム時における「レスチューブ」の装着に関するローカルルール

本大会では、スイム競技時に膨張式緊急浮力体（以下「レスチューブ」という）の装着について、下記ルールを適用する。

- 01：ウェットスーツのほか安全を自分で守るための用具となる。泳力に自信がないままスタートすることがないように十分に練習に励んで大会に参加すること。
- 02：心身の安全に不安を感じたら競技の継続にこだわることなく躊躇せずに使用すること。なお、器具の使用に係る固有の事故等について、主催者は責任を負わない。
- 03：スイム入水時までに装着を完了しておくこと。
- 04：装着しても使用しなかった場合は、装着しない場合と区別せずに計測・順位の記録を行う。
- 05：使用した（膨張させた）場合には、以降のレースを継続することはできない。可能であれば自力もしくは救助チームのサポートを受けて上陸すること。上陸後は審判員の指示に従うこと。



レスチューブの例



詳しくは web にて確認してください。 www.restube-jpn.com

◆トランジション

- 01：選手・審判員以外はトランジションエリアへ立ち入りできない。
- 02：トランジションエリア入場の際、ヘルメットのストラップを緩みのないよう調整しておくこと。ストラップの状況を含めヘルメットチェックを実施する。
- 03：バイクラックにレースナンバーが記してあるので、決められた自身のエリアのみ使用すること。
- 04：バイクはバイクラックのレースナンバーが見える方にハンドル側を向けて設置すること。向きが違う場合はペナルティ対象となる。
- 05：トランジションエリアへは、競技と直接関係ない物（クーラーボックス等）の持ち込みはできない。審判員が発見した場合はこれを撤去することができる。ペナルティの対象となることもある。
- 06：7時10分からバイク競技終了まではトランジションエリアを閉鎖する。バイクと競技用具の引き取り時間はおおよそ12時30分頃とする。盗難防止のため、ボディナンバー及バイクレースナンバーシールを照合して引き渡しを行う。
- 07：トランジションエリア内でバイクに乗車した場合、ペナルティの対象になる。
- 08：トランジションエリア内の路面は荒れている部分がある。※スイム上陸部にはきものを置くエリアを設けるので自己責任の下利用すること。
- 09：選手はヘルメットをしっかりと締めなければならず、バイク競技の開始前にラックからバイクを取り外した時点から、バイク競技の終了後にラックにバイクを置き、手を離すまでヘルメットのロック機構をロックまたはロック解除することはできない。

◆バイク競技

- 01：バイクはフリーホイール式で前後ブレーキを装着したロードレーサー（ブルホーンハンドル仕様のTTバイク含む）を基本とする。特に安全性が認められないバイクは、大会組織委員会が判断して参加を認めない場合がある。
- 02：エアロバー（DHバー・クリップオンバー）の装着、後輪のディスクホイールの使用は可能とする。
- 03：サイクルコンピューター（走行距離計測器）装着を推奨する。
- 04：バイクのスタンド・泥除け・ミラー・ライト等は予め外しておくこと。
- 05：ヘルメットは安全基準を満たした硬質のものを正しく着用する。エアロタイプのヘルメットも使用可能。改造、ひび割れ、古いタイプのヘルメットの使用は認めない。
- 06：レースナンバーをヘルメット前面、バイク左側にレースナンバーが確認できるように、バイクフレームもしくはシートピラー等に貼りつけること。レースナンバーの加工・改良は認めない。
- 07：バイクコースは完全交通規制となるが、往復路となるため対面通行となる。選手は常に危険回避義務があり、前方及び路面状況にも十分注意する。緊急車両走行時は減速し、左側を徐行。または指示に従い停止すること。いかなる場合でも緊急車両の追い越しは禁止とする。
- 08：走行中は常に自己の安全速度を守る。特にキープレフトを順守し、お互いのドラフトゾーン確保及びブロッキング禁止を順守する。追い越しは後方を確認し、声をかけて右側を追い越すこととし、視界の悪いコーナーでの追い越しは禁止する。また、追い越される選手は走行ラインを変更しない。
- 09：バイクコースの特性を加味し、追い越し時の接触や事故の責務は、常に追い越す選手に科す。
- 10：バイクコース上にはエイドステーションを設けないため、バイクボトルを携行し水分補給を行うこと（2本推奨）。ペットボトルの携行は禁止とする。
- 11：ドラフティングは禁止とするが、選手が密集した場合等ドラフトゾーン確保が困難な場合、ドラフトゾーンへの故意でない進入については考慮する。ドラフトゾーンは、バイクの前輪の最前部を起点として後方10mの範囲とする（ローカルルール）。ドラフティング違反は1分のタイムペナルティを科す。
- 12：バイクコースは往復路となるため、反対車線へのはみ出しは禁止とする。はみ出しがあった場合は、いかなる理由であれ反対車線を走る選手への安全確保不履行として失格とする場合がある。
- 13：バイクコースは志賀島東海岸を5往復とする。アンクルバンドによる機械計測を行うが、リアルタイムで選手に伝達することはできないため、往復回数管理は、走行距離計測器により各自で管理すること。往復回数を間違えた場合は、バイクコースの逆走は禁止とし、順方向に走行してバイクフィニッシュに向かうこと。なお、往復回数が少ない場合はDNFとなる。
- 14：バイクコースで落下物回収のために停車・逆走することを禁止する。落下物は審判員または大会スタッフが回収し、競技終了後に大会本部にて受け取る。なお、落下物の破損・紛失について主催者は一切責任を負わない。
- 15：補給食などのゴミを故意に投棄した場合はペナルティを科せられる場合がある。
- 16：バイクの乗車は、片足がバイク乗車ラインを越えたあとに、完全に片足が地面に着いてから乗車すること。（ペナルティ対象）
- 17：バイクの降車は、バイク降車ライン手前の地面に、片足が完全に着いてから降車すること。（ペナルティ対象）
- 18：コースの特性上、一部区間で選手の並走・合流が生じることから、危険区間として「減速」「追い越し注意」等を義務付ける（※詳細は『危険箇所』参照）。安全確保のためには規制の遵守が必須となるため、対象区間での規制不履行については「ドラフティング違反同等」の1分のタイムペナルティを科す。
- 19：バイクの乗車姿勢はブレーキをかけられる状態でハンドルを握ることを基本とする。但し、エアロバーを装着した状態でパッドに前腕や肘を置きエアロバーを手で握ることは可能とする。
- 20：サドルに接触するのはお尻のみとする。お尻をサドルの前方に持ってきたり、サドルの後方に引いてサドルの上に胸を当てることは禁止する。但し、ダンシング等で腰をサドルの上に浮かすことは可能とする。

◆ラン競技

- 01：ランコースは完全交通規制されていない。交通規則を遵守し、公衆（観客・通行人）に十分注意する。
- 02：県道の交通規制は12:00に解除となる。フィニッシュ直前に県道を横断する場所があるが交通規制解除後に通過する場合は、警察官・ガードマン・大会スタッフの誘導に従うこと。
- 03：ラン競技は右側通行となる。走行はキープライトを順守し、コース幅の狭いところは前方及び対向の選手に十分注意して互いに安全な走行を心がけること。
- 04：ランは、志賀島漁港付近から潮見公園に登る山道となる。火焰塚～潮見公園区間は2往復とする。計測チップによる機械計測を行うが、リアルタイムで選手に伝達することはできないため、往復回数管理は各自で管理すること。なお、往復回数が少ない場合はDNFとなる。
- 05：エイドステーションは1周に2箇所あり、ラン競技中合計4回通過するので適宜水分補給をすること。第三者によるエイドステーション以外における飲み物等の提供は認めない（ただし、緊急時は除く）。
- 06：使用済み紙コップ等のゴミは、エイドステーションに設置してある回収箱に入れること。故意にコースに投棄した場合はペナルティを科せられる場合がある。
- 07：ランコース上には、ペナルティボックスを設置する。対象となる選手のレースナンバーが掲示されるので、最終周回までにはペナルティボックスに入り審判員の指示のもとタイムペナルティを受けること。対象となる選手がペナルティボックスに入らなかった場合は失格とする。

◆フィニッシュ

- 01：フィニッシュ後、アンクルバンドを自身で取外し、返却箱に入れること。
- 02：フィニッシュ時にアンクルバンドが無い場合は失格とする。
- 03：フィニッシャータオル・給水を自身で受け取ること。
- 04：同伴フィニッシュは選手・観客等の安全面を考慮し禁止とする。同伴した場合は失格とする場合がある。

◆制限時間

当大会では、交通規制による地域住民の負担軽減から以下の通り制限時間を設定する。

●スイム

制限時間 / グループ A 8 : 20 ※スタート時間 (7 : 30) から 50 分後

制限時間 / グループ B 9 : 35 ※スタート時間 (8 : 45) から 50 分後

- ・制限時間までにスイムフィニッシュ計測を通過できなければ DNF となり、次のバイク競技へ進むことはできない。

●バイク

制限時間① グループ A 8 : 35 (スイム制限時間 + 15 分)

グループ B 9 : 50 (スイム制限時間 + 15 分)

- ・制限時間までにバイクスタート計測を通過しなければ DNF となり、次のバイク競技・ラン競技へ進むことはできない。

制限時間② グループ共通 11 : 35 (トランジションエリア付近折返し)

- ・いかなる周回数であっても、制限時間までに折返しをしなければ、DNF となり次の周回に進むことは出来ない。

制限時間③ グループ共通 11 : 50 (計測③バイクフィニッシュ)

※グループ B のスタート時刻より 3 時間 05 分後

- ・いかなる周回数であっても制限時間までに計測③バイクフィニッシュを通過できなかった場合は DNF となる。コース上の選手は一般交通ルールに従って計測③付近に戻る。
- ・グループ A については、制限時間②まで走行できることになるが、記録集計後 10 : 35 (スタート時刻 + 3 時間 05 分後) までに計測③を通過できていなかった場合は DNF となる。

●ラン

制限時間 グループ共通 13 : 00 (計測⑤フィニッシュ)

※グループ B のスタートより 4 時間 15 分後

- ・制限時間までに通過できなかった場合は DNF となる。コース上の選手は一般交通ルールに従ってフィニッシュ付近に戻る。
- ・グループ A については、制限時間まで走行できることになるが、記録集計後スタートから 4 時間 15 分を超過していた場合は DNF となる。

※上記の制限時間に通過できずに DNF となった場合、および記録集計後に DNF となった場合は「完走」とならないため、エイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズのポイントは付与されない。

◆罰則 (ペナルティ)

- 01：全競技を通じて、審判員からペナルティを適用すると指摘された選手は、ランコース上に設置されたペナルティボックスで、フィニッシュの前までにタイムペナルティを受けること。タイムペナルティを受けない場合は失格となる。
- 02：ドラフティング・ブロッキングのタイムペナルティは 1 分、その他の違反は 15 秒を基本とする。

◆抗議

- 01：選手は審判長の裁定や競技環境、他の競技者やスタッフの言動、または自らの違反について、審議委員会に抗議を申し立てることができる。
ただし、ドラフティング・ブロッキング・暴言等スポーツマン精神に反する言動についての抗議は受け入れられない。
- 02：競技者又は審判長は、審議委員会の裁定に対してなお不服な時は、FTU理事会に上訴を申し立てることができる。また、更なる不服申し立ては「スポーツ仲裁規則」に従い解決する。
- 03：審議委員会は、大会技術代表、主催者、FTU代表の3名で構成され、抗議については速やかに対処する。
- 04：抗議の申請は大会本部を窓口とし、競技者氏名・レースナンバー・抗議内容を確認した後審議委員会を招集する。
- 05：抗議は次の期限までに行わなければならない。
- ・コースに関する抗議：競技開始 24 時間前まで
 - ・競技中に審判員から受けた判定・言動又は他の競技者の言動に対する抗議：抗議者のフィニッシュ後 60 分以内
 - ・他の競技者の競技用具に関する抗議：抗議者のフィニッシュ後 30 分以内
 - ・記録及び計時に関する抗議：公式記録の発表後 14 日以内

◆棄権

- 01：競技途中に棄権する場合は、必ず審判員またはスタッフに棄権の意思を通告すること。棄権の通告がなかった場合、競技終了後も捜索が続くこととなる。スムーズな大会運営のために、必ず棄権通告を実施すること。
- 02：競技を棄権する際は、レースナンバー・アンクルバンドを外し、審判員に返却すること。

◆参加費返金

- 01：エントリー後の返金は原則として行わない。ただし、自然災害や感染症拡大等の理由により大会が中止となった場合は、それまでに要した準備費用など勘案の上、別途通知することとする。

◆肖像権

- 01：大会に関する肖像権は主催者に帰属する。
- 02：入手した個人情報、個人情報の保護に適用される法令を遵守し、大会に関する情報の通知手段として使用する以外は、本人の承諾がない限りは使用しない。

6月22日（日）大会当日のスケジュール

時間	内容	必要事項	注意事項
5:00～6:30	大会会場入り	A・B・C・D 駐車場	- 事前郵送物の中に駐車券を同封します。当日は必ず持参し、駐車場に向かってください。 - 駐車場では誘導員の指示に従い、できるだけ詰めて駐車するようお願いします。
5:30～6:50	受付	志賀公民館	- 事前郵送物に同梱されている「出場許可証」を必ず持参してください。 健康チェック&競技規則確認シートは記入・回答の上、必ず受付に提出してください。 - 受付窓口：スイムキャップ、参記念 T シャツ等の支給物を受け取ります。
5:30～	更衣室・荷物置場利用	スイムエリア（志賀島海水浴場）	- スイム会場となる砂浜にある海の家を、更衣室・荷物置場として開放します。 ※男性：「丸良」／女性：「福助」 - 荷物には、事前郵送物に同梱されている「トランジションバッグ」に入れ、「トランジションバッグ用レースナンバーシール」を貼ってください。 - 荷物受け取り時は、レースナンバーの確認を行います。
5:30～オープン ～7:10 クローズ	トランジションエリアオープン トランジションエリアクローズ ※ピックアップ予定 12:30～	トランジションエリア （志賀島漁港）	- 入口にてレースナンバー、ヘルメットの確認を行います。 - 自転車の向きを間違えないようにしましょう。 - スイム上陸～トランジションエリア、トランジションエリア内は路面が荒れている部分があります。スイム上陸部に「はきもの置場」を設けますので自己管理の上で利用してください。
A 6:40～7:15 B 8:10～8:35	アンクルバンド受渡し	スイムエリア（志賀島海水浴場） ※スイム計測テント付近	- スイムエリアに入ったらグループ毎に決められた時間にアンクルバンドを受け取り装着してください。 - アンクルバンドは装着したらフィニッシュまで外さないようにしてください。
A 6:50～7:15 B 8:20～8:35	スイム入水チェック	スイムエリア（志賀島海水浴場） ※スイム計測地点	- 入水チェックの際は必ずアンクルバンドを装着してください。 - 入水チェックはスイム計測マットと同じです。必ず一度通過してから待機に移るようにしてください。 - 一度通過したあとはスタートまで通過しないようにしてください。また、スイムエリアから離れることがないようにしてください。 - トイレ等でスイム待機エリアを離れる必要がある場合は、アンクルバンドを審判員に預けて離れること。
A 6:50～7:15 B 8:20～8:35	試泳	スイムエリア（志賀島海水浴場）	- 水温に慣れるためにも試泳をおすすめします。 - 試泳は（グループA / 7：15・グループB / 8：35）までには終了しスイム待機エリアに集まってください。
7:15～	開会式	スイムエリア（志賀島海水浴場）	- 簡単な開会式を行います。 - 開会式終了後、最初のスタートグループ（白）はスタートライン付近に移動して下さい。

時間	内容	必要事項	注意事項
A 7:30	レーススタート	スイムエリア（志賀島海水浴場）	・ 時間差のウェーブスタート方式とします。（グループA→7:30、グループB→8:45） ・ スタート直後のバトルに巻き込まれないようご自身の泳力に合わせた位置でスタートしてください。
B 8:45			
A 8:10	スイムスキップリスタート	スイムエリア（志賀島海水浴場）	・ 「スイムスタート前」に申告する場合に限りスイムスキップを認めます。 ・ グループA /7:15・グループB /8:30 までに意思の報告。 ・ リスタート時刻 グループA /8:10・グループB /9:25
B 9:25			
A 8:20	スイム制限時間	スイムエリア スイムフィニッシュ計測地点	・ 制限時間までにスイムフィニッシュ計測を通過できなければDNFとなり、次のバイク競技へ進むことはできません。
B 9:35			
A 8:35	バイクスタート制限時間	トランジションエリア バイクスタート計測地点	・ 制限時間までに通過しなければDNFとなり、次のバイク競技・ラン競技へ進むことはできません。
B 9:50			
11:35	バイク制限時間	トランジションエリア付近折返し	・ いかなる周回数であっても、制限時間までに折返しをしなければDNFとなり次の周回に進むことは出来ない。
11:50	バイク制限時間	志賀島入口計測地点	・ いかなる往復回数であっても制限時間までに計測③バイクフィニッシュを通過できなかった場合はDNFとなる。コース上の選手は一般交通ルールに従って計測③付近に戻ることに。 ・ グループAについては、制限時間②まで走行できることになるが、記録集計後 10:35（スタート時刻+3時間05分後）までに計測③を通過できていなかった場合はDNFとなる。
13:00	ラン制限時間	フィニッシュゲート（志賀島漁港）	・ 制限時間までに通過できなかった場合はDNFとなる。コース上の選手は一般交通ルールに従ってフィニッシュ付近に戻ることに。 ・ グループAについては、制限時間まで走行できることになるが、記録集計後スタートから4時間15分を超過していた場合はDNFとなる。
	フィニッシュ後	スイムエリア（志賀島海水浴場）	・ アンクルバンドは自身で取外して返却箱に入れてください。 ・ フィニッシャータオル・給水を受け取ってください。
13:00	表彰・閉会式	スイムエリア（志賀島海水浴場）	

選手ナビゲーション（受付・駐車場ほか）



FUKUOKA
TRIATHLON 2025
in SHIKANOSHIMA

NTT
TRIATHLON
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP
SERIES

選手受付 ⇒ トランジションエリア ⇒ スイム会場



お車は **6:30** までに**駐車**してください。

※ 6:45 より交通規制が行われます。

選手受付時間が 5:30 ~ 6:50 のため、6:30 までにはお越しください。

選手受付

6/22sun
選手受付会場

志賀公民館

〒 811-0323

福岡市東区大字志賀島 736 - 60

TEL : 080-4625-9884



FUKUOKA
TRIATHLON 2025
in SHIKANOSHIMA

駐 車 証

選手専用駐車場

駐車場 A・B・C・D の順に誘導します。駐車場付近及び駐車場内スタッフの案内に従って速やかに駐車してください。

駐車場入場時間 5:00~6:30

- ※ 7:00 より交通規制が行われます。選手受付時間が 5:30~6:50 のため、6:30 までにはお越しください。
- ※ 交通規制直前は混雑しますので、早めに会場へお越しください。
- ※ 事故防止のために駐車場及び会場内での自転車の走行（レース以外）はご遠慮ください。発見した場合は出場資格を取り消します。
- ※ 駐車場内で発生した事故トラブルについて主催者側は一切保証を行いません。
- ※ 本証はダッシュボードなど、車の外から見えるところへ置いてください。
- ※ 本証をお忘れになると駐車できませんのでご注意ください。
- ※ 駐車場のスペースには限りがあります。できるだけ乗り合わせでの来場にご協力ください。

駐車場 A・B・C の順に誘導します。駐車場付近及び駐車場内スタッフの案内に従って速やかに駐車してください。

※ 6:45 より交通規制が行われます。選手受付時間が 5:30 ~ 6:50 のため、6:30 までにはお越しください。

※ 交通規制直前は混雑しますので、早めに会場へお越しください。

※ 事故防止のために駐車場及び会場内での自転車の走行（レース以外）はご遠慮ください。発見した場合は出場資格を取り消します。

※ 駐車場内で発生した事故トラブルについて主催者側は一切保証を行いません。

※ 本証はダッシュボードなど、車の外から見えるところへ置いてください。

※ 本証をお忘れになると駐車できませんのでご注意ください。

※ 駐車場のスペースには限りがあります。できるだけ乗り合わせでの来場にご協力下さい。



FUKUOKA TRIATHLON 2025 in SHIKANOSHIMA

025



スタートリスト① グループA



FUKUOKA
TRIATHLON 2025
in SHIKANOSHIMA

NTT
TRIATHLON
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP
SERIES

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
101	梶浦 倅平	20	福岡
102	丸田 穰也	20	福岡
103	栗田 喬平	20	福岡
104	植村 知晴	20	福岡
105	木原 来海	20	福岡
106	松本 聡太	21	福岡
107	土井 琳太	21	福岡
108	人見 空知	21	福岡
109	邊見 紗来	21	福岡
110	早崎 蒼	21	長崎
111	寺田 ひなた	21	長崎
112	久保 航貴	22	福岡
113	石河 誉章	22	福岡
114	吉田 健太郎	23	福岡
115	藤井 大地	23	大分
116	松浦 修大	23	福岡
117	西 凌汰	23	佐賀
118	甲斐 一馬	23	福岡
119	穂森 光稀	23	福岡
120	小手川 ひかる	23	山口
121	福島 稜大	24	福岡
122	福原 加珠美	24	福岡
123	佐々木 信	25	福岡
124	藤原 直生	25	福岡
125	益田 大誠	25	福岡
126	末吉 秀旭	25	福岡
127	大石 麻美子	25	埼玉
128	奥田 開登	26	福岡
129	野村 佳樹	26	山口
130	橋本 直哉	26	福岡
131	高取 草太	26	福岡
132	権田 梨世	26	福岡
133	長谷 恵	26	福岡
134	寺田 翔太	27	鹿児島
135	大嶋 颯多	27	埼玉
136	橋本 諒祐	27	東京
137	大井 智仁	27	東京
138	土江 巧真	27	長崎
139	坂山 智哉	28	福岡
140	森芳 柊博	28	福岡
141	坂本 智彦	28	福岡

A

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
142	平嶋 颯太	28	福岡
143	宮原 萌	28	福岡
144	糸岡 蘭	28	福岡
145	山口 和也	29	熊本
146	杉山 恵太	29	大阪
147	CHEN YONG SIN	29	台湾
148	大弓 和政	29	熊本
149	黒尾丸 真季	29	福岡
201	深野 雄大	30	福岡
202	佐々木 稔	30	熊本
203	外崎 雄大	30	栃木
204	野中 惇	30	佐賀
205	深野 由佳	30	福岡
206	石川 和良	31	山口
207	縄田 佳志	31	福岡
208	下田 駿平	31	福岡
209	原口 侑也	31	福岡
210	田中 亮成	31	熊本
211	深見 章吾	32	熊本
212	田中 裕也	32	長崎
213	多田 優輝	32	山口
214	鳳 和希	32	愛媛
215	前田 直哉	32	愛知
216	ドウル 聖良	32	東京
217	徳島 侑典	33	福岡
218	竹川 博	33	佐賀
219	小松 真也	33	福岡
220	中島 千晴	33	山口
221	山田 龍介	33	福岡
222	麻崎 雄太	33	福岡
223	毛利 元彦	33	長崎
224	伊藤 亮太郎	33	福岡
225	前田 祐聖	33	東京
226	車戸 高介	33	愛知
227	幾竹 新	33	大阪
228	山内 晴貴	33	佐賀
229	黒岩 利咲	33	広島
230	曾我部 悟	34	大阪
231	井上 堅登	34	福岡
232	市川 健一	34	福岡
233	松本 由衣	34	福岡

A

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
234	吉岡 唯	34	岡山
235	西村 栄治	35	山口
236	末岡 瞭	35	長崎
237	小松 健太	35	佐賀
238	荒牧 巖	35	熊本
239	小林 宏州	35	福岡
240	山路 雅之	35	福岡
241	篠川 大輔	35	鳥取
242	山口 竜輔	35	長崎
243	岩隈 夕貴	35	福岡
244	末永 幸洋	36	福岡
245	西原 和宏	36	福岡
246	大本 達也	36	広島
247	平田 隼	36	福岡
248	森田 道子	36	福岡
249	神原 隆秀	37	広島
250	米倉 亮太	37	福岡
251	原田 翔司	37	福岡
252	中尾 宇志	37	福岡
253	上野 勝寛	37	福岡
254	下川 貴之	37	福岡
255	今村 彰太郎	37	長崎
256	城戸 将徳	37	福岡
257	妻川 健介	37	大分
258	越海 ニコール	37	大分
259	樋口 大夢	38	福岡
260	芝崎 僚	38	鳥取
261	海辺 義一	38	福岡
262	久保田 雄貴	38	長崎
263	福島 弥生	38	福岡
264	岩下 裕之	39	福岡
265	横張 貴久	39	兵庫
266	白尾 怜史	39	福岡
267	糸満 尚貴	39	大分
268	梅谷 幹宏	39	福岡
269	浅田 晃輔	39	福岡
270	渡瀬 功史郎	39	熊本
271	池田 直樹	39	福岡
272	田口 一也	39	福岡
273	柳田 加菜子	39	広島
274	河田 真奈	39	福岡



スタートリスト② グループA



FUKUOKA
TRIATHLON 2025
in SHIKANOSHIMA

NTT
TRIATHLON
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP
SERIES

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
301	入江 龍治	40	福岡
302	高松 悌二郎	40	福岡
303	江口 紹修	40	長崎
304	田中 裕繁	40	長崎
305	仲原 康平	40	福岡
306	福田 将人	40	福岡
307	新地 義昭	40	大分
308	大本 真奈美	40	広島
309	小倉 雄夢	41	福岡
310	庄寄 正裕	41	福岡
311	柿山 啓介	41	千葉
312	崔 鍾賢	41	福岡
313	河面 洋平	41	福岡
314	吉田 俊介	41	福岡
315	田中 康孝	41	福岡
316	田村 惟人	41	福岡
317	今井 正人	41	山口
318	古賀 照康	41	山口
319	佐藤 将貴	41	福岡
320	片山 佑一	41	福岡
321	米田 貴司	41	福岡
322	金石 浩爾	42	福岡
323	高津 康弘	42	福岡
324	松岡 慎治	42	福岡
325	山本 悠人	42	福岡
326	齋藤 俊介	42	長崎
327	宮本 大輔	42	福岡
328	桂 智慧子	42	福岡
329	ドーズエイプリル	42	東京
330	村山 直充	43	福岡
331	桂 重仁	43	福岡
332	鍵山 元輝	43	福岡
333	坂本 亮	43	福岡
334	関 基浩	43	福岡
335	高畑 義倫	43	福岡
336	付 強	43	福岡
337	親川 広志	43	福岡
338	石田 英史	43	山口
339	駒野 悠太	43	神奈川
340	脇元 隆次	43	福岡
341	垂見 憲明	43	福岡

A

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
342	戸田 宗輔	43	福岡
343	渡辺 恭	43	福岡
344	清水 哲平	43	大阪
345	玉野井 宏和	43	福岡
346	平下 心	43	大阪
347	石橋 雄介	44	福岡
348	菊池 亮一	44	長崎
349	迫田 雄介	44	熊本
350	清水 啓太	44	広島
351	寺本 昌弘	44	福岡
352	渡邊 哲郎	44	福岡
353	田尾 友希	44	香川
354	小野 忠相	44	福岡
355	郡司 拓磨	44	愛知
356	太宰 賢二	44	東京
357	松田 光司	44	福岡
358	西 亜紀子	44	東京
359	松本 尚也	45	東京
360	小野 勇	45	山口
361	長谷川 伸一	45	福岡
362	目原 宏輝	45	福岡
363	安田 慶太	45	福岡
364	溝辺 一喜	45	福岡
365	宮嶋 裕史	45	福岡
366	吉田 誠	45	佐賀
367	八木 恭子	45	佐賀
368	楮原 裕二	46	山口
369	伏見 浩幸	46	佐賀
370	猪口 耕成	46	福岡
371	北村 良平	46	東京
372	柿本 義行	46	福岡
373	本多 哲郎	46	福岡
374	城田 全江	46	福岡
375	吉田 丈士	47	福岡
376	小林 知樹	47	福岡
377	瀧本 康介	47	福岡
378	石丸 将義	47	山口
379	村上 剛	47	広島
380	加藤 章一郎	47	福岡
381	佐々木 周	47	福岡
382	八尋 幸一	47	福岡

A

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
383	佐野 雄一郎	47	東京
384	大江 亮	47	東京
385	岡本 和也	47	佐賀
386	長嶺 裕一	47	長崎
387	山下 真吾	47	福岡
388	松尾 俊治	47	福岡
389	小方 壽浩	47	福岡
390	椎山 孝洋	48	福岡
391	池田 研太	48	鹿児島
392	原 啓介	48	福岡
393	出来 大輔	48	山口
394	石井 陽一郎	48	大阪
395	小畑 幸子	48	福岡
396	梶田 友則	49	宮崎
397	小嶋 淳平	49	兵庫
398	森上 智	49	福岡
399	平川 泰祐	49	福岡
400	末松 士	49	福岡
401	平 昭宏	49	福岡
402	平岡 博志	49	大分



スタートリスト③ グループB



FUKUOKA
TRIATHLON 2025
in SHIKANOSHIMA

NTT
TRIATHLON
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP
SERIES

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
501	若松 正臣	50	鹿児島
502	岡本 利明	50	福岡
503	木部 匡之	50	福岡
504	首藤 真	50	福岡
505	波多江 裕史	50	福岡
506	笹部 泰宏	50	岡山
507	平澤 健市	50	埼玉
508	山田 昌一	50	福岡
509	松浦 弘	51	福岡
510	眞鍋 賢太郎	51	福岡
511	後藤 義和	51	福岡
512	矢野 亮	51	福岡
513	福谷 広志	51	福岡
514	井上 義彦	51	福岡
515	許斐 智夫	51	福岡
516	平井 慶太	51	福岡
517	坂村 浩史	51	福岡
518	堤 英将	51	福岡
519	奥田 健三郎	51	福岡
520	野田 慎一朗	51	福岡
521	用田 敏彦	51	東京
522	田中学	51	福岡
523	山口 靖広	51	兵庫
524	HSIUNG MING TE	51	台湾
525	米倉 孝一	51	福岡
526	伊浦 佳代子	51	大阪
527	森川 和輝	52	岡山
528	古畑 圭一朗	52	鹿児島
529	高橋 健一	52	大阪
530	早田 卓司	52	福岡
531	中原 和浩	52	福岡
532	増田 修	52	福岡
533	藤原 昭宏	52	山口
534	橋田 義尊	52	熊本
535	加藤 晶一	52	福岡
536	神崎 孝二	52	福岡
537	石橋 顕	52	福岡
538	牧野 秀寿	52	福岡
539	久野 奈穂子	52	愛知
540	川上 豪仁	53	福岡
541	村山 裕昭	53	千葉

B

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
542	深見 幸平	53	福岡
543	大道寺 崇	53	福岡
544	西久保 竜平	53	佐賀
545	吉武 太志	53	福岡
546	古賀 崇司	53	福岡
547	沖原 昌幸	53	広島
548	山本 英永	53	神奈川
549	岸本 敦也	53	広島
550	白水 威彦	53	千葉
551	富田 匡俊	53	兵庫
552	河上 恵典	53	長崎
553	福田 滋	53	愛知
554	佐野 友昭	53	福岡
555	坂田 竜一	53	福岡
556	西村 久徳	53	福岡
557	小海 寛	53	福岡
558	越智 正一	53	愛媛
559	東一 圭子	53	大阪
560	東郷 和彦	54	鹿児島
561	小林 裕幸	54	広島
562	平山 貴浩	54	福岡
563	末松 敏和	54	福岡
564	桑原 貴洋	54	佐賀
565	吉川 義章	54	神奈川
566	杉山 英輝	54	神奈川
567	遠藤 弘樹	54	大阪
568	天沼 裕文	54	大分
569	横山 洋	54	埼玉
570	古賀 一郎	54	東京
571	村上 幸男	54	長崎
572	今里 光佐	54	福岡
573	川淵 清吉	54	大阪
574	内野 慎太郎	54	福岡
575	南 佳子	54	大阪
576	鈴木 英里	54	大分
577	鹿島 浩太郎	55	福岡
578	三浦 洋司	55	福岡
579	舞田 光穂	55	鹿児島
580	盛岡 正行	55	福岡
581	浜田 綱太郎	55	福岡
582	高橋 祐樹	55	福岡

B

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
583	米澤 博文	55	福岡
584	酒井 克幸	55	大分
585	松本 直樹	55	佐賀
586	川内 佳司	56	福岡
587	内藤 秀治郎	56	東京
588	朝武 康臣	57	東京
589	福家 健作	57	福岡
590	宮崎 幸宏	57	福岡
591	川島 輝之	57	大阪
592	中嶋 傑	57	福岡
593	綿貫 純也	57	島根
594	亀山 智之	57	広島
595	曾我部 俊幸	57	福岡
596	上田 潤一	58	福岡
597	酒井 龍司	58	島根
598	北垣 徹	58	兵庫
599	恵崎 浩則	58	福岡
600	高草木 康史	58	東京
601	水落 晃嗣	58	福岡
602	菅 道文	58	福岡
603	豊福 政博	58	神奈川
604	加藤 成章	58	千葉
605	掛札 幸子	58	福岡
606	愛甲 隆昭	59	鹿児島
607	森 広志	59	福岡
608	吉原 秀憲	59	福岡
609	古跡 寛	59	山口
610	川西 清華	59	岡山



スタートリスト④ グループB



FUKUOKA
TRIATHLON 2025
in SHIKANOSHIMA

NTT
TRIATHLON
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP
SERIES

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
701	城田 正俊	60	福岡
702	田中 孝治	60	福岡
703	江口 和徳	60	佐賀
704	藤川 靖	61	福岡
705	河原 正幸	61	福岡
706	松井 伸一郎	61	東京
707	益田 浩司	61	広島
708	和泉 宏明	61	奈良
709	白石 和仁	61	愛媛
710	平田 敬介	61	愛知
711	高木 宏嗣	61	福岡
712	赤木 政春	61	大阪
713	橋爪 健太郎	61	福岡
714	江本 玄	61	福岡
715	権藤 健市	61	福岡
716	松藤 章子	61	福岡
717	森上 健	62	福岡
718	前田 恭嗣	62	熊本
719	山口 博文	62	佐賀
720	石河 勲	62	福岡
721	中村 雅和	62	福岡
722	岩本 正三	63	福岡
723	山本 義夫	63	岡山
724	矢次 泰明	63	熊本
725	北川 浩司	63	福岡
726	上野 一浩	63	山口
727	坂山 一之	63	岡山
728	大久保 英彦	63	福岡
729	松下 豊美	63	福岡
730	高木 英久	64	長崎
731	秋山 研龍	64	広島
732	新宮 瑞夫	64	島根
733	川田 和美	64	長崎
734	青木 良	65	静岡
735	鴛海 拓也	65	福岡
736	廣石 雅司	66	長崎
737	山崎 良樹	66	兵庫
738	蓑部 孝行	66	三重
739	岡崎 好文	66	兵庫
740	大屋 裕禎	66	長崎
741	占部 毅士	67	広島

Group
B

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
742	伊野 隆久	67	三重
743	佐々木 政弘	67	広島
744	山口 裕	67	佐賀
745	角田 能子	67	島根
746	先山 恵司	68	大阪
747	中川 泰	68	福岡
748	品野 俊治	69	福岡
749	西島 洋幸	69	広島
750	竹中 嘉文	69	福岡
801	毛利 力	70	山口
802	米山 高兆	70	鹿児島
803	若林 守	71	福岡
804	上田 智	71	福岡
805	郷堀 宏史	71	広島
806	沖村 政則	72	東京
807	岡本 和輝	72	山口
808	小林 雅夫	73	京都
809	山道 和樹	74	福岡
810	田中 啓司	75	福岡
811	下平 譲二	75	福岡
812	出口 秀吉	77	福岡
813	白石 直敏	77	福岡
814	村中 信一	77	山口
815	濱崎 二丸	79	熊本

Group
B



SPONSER



FUKUOKA
TRIATHLON 2025
in SHIKANOSHIMA

NTT
TRIATHLON
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP
SERIES

thanks to all sponsor & partners

SILVER SPONSORS



BRONZE SPONSORS



OFFICIAL DRONE PARTNER



OFFICIAL MEDICAL SPONSOR



Fukuoka

SDF PARTNERS & LOCAL PARTNERS

大会を個人で支えていただいたみなさん
大会にご理解を示していただいた志賀島のみなさん、全てに感謝いたします。

Thanks to everyone who supports us!

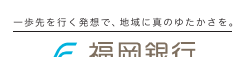
SPONSER



FUKUOKA
TRIATHLON 2025
in SHIKANOSHIMA

NTT
TRIATHLON
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP
SERIES

STANDARD SPONSORS



BOOTH SPONSORS



SPECIAL THANKS

